



2024年6月27日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイエスエス
代 表 者 名 代表取締役社長 藤木 孝夫
(コード番号:6074)
問 い 合 わ せ 先 常務取締役管理本部長 濱治 雅弘
T E L 06-6449-6121 (代表)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月15日に、スタンダード市場の上場維持基準の適合に向けた計画を、また2023年6月29日に上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況についてを提出し、その内容について開示しております。2024年3月末時点における計画の進捗状況について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移および計画期間

当社の2024年3月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は2025年3月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況 およびその推移	2021年6月末時点 (移行基準日)	1,341人	17,075単位	9.3億円	42.4%
	2023年3月末時点	1,130人	16,903単位	8.8億円	41.9%
	2024年3月末時点	1,102人	16,971単位	8.8億円	42.1%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%
当初の計画に記載した計画期間		—	—	2025年3月末	—

※上記は、各基準日時点において東京証券取引所が把握している当社の株券等の分布状況表をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況および評価 (2021年11月～2024年3月)

流通株式時価総額の基準を充たしていないことの主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大による急激な景況感の悪化に見舞われ、足下では順次経済活動の再開が進んだものの、同感染症が完全に収束するまで一定の時間を要する事が想定されるなど、先行き不透明で極めて厳しい環

境による業績不振の結果、株価低迷により流通株式時価総額基準への不適合という事態に至ったと認識しております。

今後、流通株式時価総額の上昇のためには、業績回復と企業価値の向上の為の取組みが必要であるとと考えております。具体的な取組内容としましては、当社の「成長戦略」を着実に実行し、その結果、2024年3月期決算においては、純売上高が8,131百万円、営業利益が389百万円、経常利益は406百万円、当期純利益は218百万円とコロナ禍前の水準に戻っております。

<業績の推移>

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
	実績	実績	実績	実績	実績
売上高(百万円)	8,480	6,494	7,550	8,073	8,131
営業利益(百万円)	374	81	289	425	389
経常利益(百万円)	390	90	285	430	406
当期純利益(百万円)	185	△440	112	234	218
1株当たり当期純利益(円)	47.86	△113.93	29.08	60.74	56.51

※成長戦略の詳細につきましては、下記をご参照ください。

https://ssl4.eir-parts.net/doc/6074/ir_material_for_fiscal_yml/156756/00.pdf

また、株価上昇のためには、持続的な成長によって企業価値の向上を実現し、株式市場で適切に評価されることが不可欠であると考えており、IR活動の強化に積極的に取り組んでまいりました。その結果、当社の事業内容のより深いご理解を通じた企業価値の向上に貢献しているものと考えております。

引き続きこれらの取組みを継続していくことが、流通株式時価総額の基準を充足することにつながるものと評価しております。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

今後、コロナ禍収束による社会活動の正常化を追い風に、更なる成長へつなげられるかが課題と考えております。

今回の判定結果の基準となった株価は521.84円でございますが、その後、6月の日々の終値平均が546.44円と、足元は上昇基調となっております。この株価水準の動きの理由について、当社では、2023年3月期、2024年3月期と着実に業績が回復している事、またM&A戦略をはじめとした当社の成長戦略が株式市場で評価されたものと考えております。

今後も成長戦略に加え、IR活動の強化、資本政策等あらゆる対策を実行し、スタンダード市場の上場維持基準（流通株式時価総額）の適合を図ってまいります。

以上